

部 4年 渡邊 史子のライフプラン

将来なにになりたいか？ 月面基地のたい在科学者

その理由：人間が宇宙でくらす上での生理学的な不便や不都合の原因や予防方法を明らかにしてみたいから。

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2018年	10(小4)	全国の宇宙科学館めぐり	<モチベーションアップ>
2019年	11(小5)	プログラミングをはじめ	お遣いは自分で投資する。
2020年	12(小6)	米国宇宙航空博物館を訪問	<カウント・ダウン>
2021年	13(中1)	米国パロマー天文台を訪問	学費や海外渡航の大きな
2022年	14(中2)	米国に短期ステイ	お金は家族に頼むをお願
2023年	15(中3)	シンガポールに交換留学	いする。
2024年	16(高1)	東京理科大学 宇宙教育プログラム挑戦	<ロケット・スタート>
2025年	17(高2)	*SGH 国際学術大会に出席	いろいろなプログラムに
2026年	18(高3)	日本、米国の大学を併願受検	を準備し結果を出す時期。
2027年	19(大1)	生命科学と情報科学を学ぶ	<スイング・バイ>
2028年	20(大2)		留学生むけ給付奨学金で
2029年	21(大3)		四年間の授業料と生活費
2030年	22(大4)		にある。
2031年	23(修1)	リサーチアシスタントになる	リサーチアシスタント・ティーチング
2032年	24(修2)	生命科学分野で修士号取得	アシスタントとして給料をも
2033年	25 (博士課程)	ティーチングアシスタントになる	らい、研究をいそぐする。
2035年	27	博士号取得 研究者となる	
2038年	30	月面基地の滞在科学者となる	

* SGH=Super Global High School

スイング・バイ・ミー

筑波大学附属小学校四年 渡邊 史子

私は、プラネタリウムで銀河の物語を聞くのが好きです。二兆の銀河をいなく宇宙は、ふくらんだり縮んだりして、不思議な存在です。宇宙図かんを読んでいると、つい時間を忘れて読み続けてしまいます。

宇宙空間で、人間が長く生活するにはどうすればいいか。これが宇宙研究のフロンティアのひとつです。と、アジア初の女性宇宙飛行士の向井千秋さんは言いました。西暦二〇三〇年ごろには、月面基地で三年間の生活ができるそうです。強い放射線にまけない環境、無重力での人の体、閉鎖空間での心のケアについて、その原因をはっきりさせて、予防方法を生理学的に考えることをスペースバイオメディカル研究といいます。

宇宙でバイオメディカル研究をする理系女子になるには、博士号が必要になります。

博士号を取るまでのライフプランを、四つにわけてみました。第一はモチベーションアップです。全国の宇宙科学館めぐったり、プログラミングをはじめたりします。お年玉貯金を、自分のやる気に投資したいです。つぎは、カウントダウンです。アメリカの宇宙航空博物館や、パロマー天文台を訪問します。海外渡航費や語学にかかる大きなお金は、家族に応援をお願いします。第三は、理系女子むけプログラムに取り組んで、国際大会での入賞を目指します。自分にむきあって成果を出しロケットスタートします。最後は、宇宙研究の本場であるアメリカ留学に挑戦します。授業料が高額なので、給付型奨学金を申請します。大学院で博士号を取るまでの五年間は、研究費からお給料を頂きます。このようにして、私の飛行き道をスイングバイし、必ずゴールに到着したいと思います。